



第2回 明日の高梁川を語る会 現地見学箇所(案)

見学箇所		概要	備考
高 梁 川	高梁川国管理区間 上流端	・国管理区間の上流端	
	湛井堰	・昭和40年に統合堰として完成。特徴的な階段式魚道を持つ ・湛井十二ヶ郷用水、上原井領用水が取水	
	水辺の楽校 3箇所中の1箇所	・総社、清音、真備の3箇所 ・飛び石やカヌーのできる水路が整備	
	笠井堰	・第一期改修で統合堰として設置 ・東西用水が取水	
	潮止堰	・昭和40年代に設置し、老朽化が進行 ・堰上流の湛水域では、多数の用水(農・工・上)が取水	
	高潮堤防の整備区 間	・堤防高が低く、平成16年16号台風では越波による浸水が発生 ・高潮堤防として、2m程度の嵩上げが必要	
小 田 川	小田川国管理区間 上流端	・国管理区間の上流端 ・吉備真備ゆかりの琴弾岩に隣接	
	樹林化が顕著な小 田川	・近年、樹林化が進行	
	小田川現状合流点	・現状の本川への合流点 ・本川水位の影響を軽減するため、導流堤が設置	
	小田川付替後合流 点	・小田川付替後の合流点 ・現状は、上流側は柳井原貯水池	

現時点の案であり、現地の道路状況等により変更される場合があります。